

当院の医師から『**ドクターのつぶやき**』と題して、定期的に情報を発信していきます
第一弾は**精神科部長の勝冶一夫医師**です！



今津赤十字病院のもの忘れ外来（その1） ～どのように診察するのか～

当院のもの忘れ外来でどのような診察を行っているのかを紹介いたします。
初めての受診は1時間ほど診察時間を頂いています。最初にしっかり診察することにより、
今後の方針が立てやすくなります。

診察は ①問診 ②神経心理検査 ③頭部CT ④その他検査 を行います。
それぞれ説明いたします。

①何より**問診**が大切です。いつからどのような症状が出現し、進行してきたのかをお伺いし、
発症からの流れを把握します。診察の基本であり、問診がない検査だけでは正確な診断は
難しいでしょう。診察前に書いて頂いた予診票やかかりつけ医からの診療情報提供書も
重要な情報源です。

②認知機能を評価する**神経心理検査**を施行します。当院では医師が検査を施行しています。
検査中の患者さんとのやり取りも診察の重大な材料となるためです。言い換えますと神経
心理検査は点数だけでなく、やり取りを踏まえて総合的に評価します。特殊な認知症が疑
われる場合はさらに詳しい検査を行うこともあります。

今津赤十字病院のもの忘れ外来（その1）

～どのように診察するのか～

- ③**頭部CT**を撮影しています。問診、神経心理検査から考えた診断と合致しているかを画像から確認します。また脳血管障害、正常圧水頭症、脳腫瘍などは特に画像が有効です。
- ④**採血、検尿、心電図、胸部レントゲン写真**などの検査をします。身体疾患に伴うせん妄、甲状腺機能障害などの認知症類似疾患の鑑別のためです。また、肝臓、腎臓等の機能をチェックして薬物を検討します。

当院ではまず最初にしっかり診察を行い、患者さん・ご家族の困っていること、心配なことへの対策を相談していきます。

